#### - 教育のまち戸田-

# 教育広報





### 平成28年度 第51回「郷土を描く児童生徒美術展」 埼玉県知事賞「たのしい うきうきこうえん」





粘土を混ぜた絵の具で描くのが気持ち よくてとても楽しかったです。

指に絵の具を付けて虹を描いたらきれ いにできました。動物やちょうちょう、 お花も描きました。この公園でお友達と いっしょに遊びたいです。

美女木小学校 1年 寺井 沙奈

#### \* 題字

「と」の1画目と2画目の交 わるところの角度や、全体のバ ランスに気を付けて書くことが できました。「とだ」というひ らがな二文字に、戸田市らしい 力強さや優しさが伝わるよう、 思いをこめて書きました。



- ◆進んでいます! 戸田市の教育改革!! ······2・3
- ◆学校とは一味違った「子ども大学とだ」……4
- ◆図書館・郷土博物館・
  - 彩湖自然学習センターからのお知らせ………5

A -L	-	-	4-	4	-
◆大	7	<	11-	) T-	h.

- 大人になったら何になる?……6
- ◆学務課からのお知らせ······7
- ◆とだっ子の活躍コーナー……8
- ◆教育長 COLUMN (コラム) ······8

# 進んでいます! 戸田市の教育改革!!

平成28年度は、「戸田市の教育振興に関する大綱」と「第3次戸田市教育振興計画」が施行され、まさに「教育改革元年」となりました。今回は、戸田市が進めている産官学民と連携した「新しい学びの創造」や「指導力のある教職員の育成」の一部を御紹介します。

#### ◆ 初のプレゼンテーション大会を開催

1月14日、各小・中学校の代表が、戸田市市制施行50周年を記念して、戸田市のよさや、未来の戸田市のためにできることについてプレゼンテーションを行いました。グローバル社会を生き抜くために必要な自己表現力をとだっ子に身に付けるため、今年度からはじまった取組です。子供たちは教育の充実、自然の豊かさ、多彩なイベント等、さまざまな視点で戸田市のよさについて考え、さらによりよい戸田市にするために、自分たちができることは何かについて伝えることができました。また、ソニー・グローバルエデュケーションの事業戦略ディレクター菊池裕史氏による、プレゼンテーションの実演も行われました。菊池氏の実演は、今後のとだっ子のめざす姿として、大きな目標になりました。



#### ◆ Reading Skills の共同研究

国立情報学研究所の新井紀子先生と連携し、市内全小・中学校において、 読み取る力を測る調査(リーディング・スキル・テスト)を実施し、教科書 に書かれているようなシンプルな文章について、児童生徒がどれくらい正確 に読むことができているのかという実態を科学的に検証しました。昨年末に 公表されたPISA 2015の結果から、読解力の低下が課題とされていま すが、戸田市では本研究の成果を活用し、読み取る力を高めるための効果的 な指導につなげていきます。



#### ◆エビデンスに基づく教育政策の推進

慶應義塾大学の中室牧子先生と連携し、「学力」と「教員の指導方法等」との関係性について分析し、「どのような指導方法が学力を効果的に伸ばすのか」、「どのような教員研修が指導力を向上させるのか」など、エビデンス(科学的根拠)に基づく効果的な指導方法等について研究を進めています。





#### ◆ 論理的思考力を高めるプログラミング教育の推進

2020年には、全国の学校に導入されるプログラミング教育にも先行的・積極的に取り組んでいます。低学年でも体感的に学べるロボットへの命令の入力、LEDを使ったアニメーションの作成などを通して、「プログラミング的思考」と呼ばれる論理的に考える力を育てていきます。





#### ◆アクティブ・ラーニングを促す協調学習の推進

東京大学 大学発教育支援コンソーシアム推進機構(CoREF)と連携し、知識構成型ジグソー法による授業展開でアクティブ・ラーニングを促す「協調学習」が広がっています。教育委員会が認定した「戸田市協調学習マイスター」を中心とする本市教員が全国のメンバーとオンラインで情報交換し、質の高い授業について研究しています。

#### ◆ 生き方を学ぶ経済教育

経済教育の本場アメリカから現職教員を招き、体験的活動を通して「意思をもって選択することや他者との結びつきを意識して生活することの重要性」を学びました。教員研修会では、「究極の選択は簡単にできず、よりよい選択のためにさまざまな観点から課題を捉え行動することが大切である」ことに気づかされました。



#### ◆21世紀型スキルを育成する授業づくり

ベネッセコーポレーションや Intel 株式会社の先進的な知見を生かした教員同士で考えを深める研修を実施しています。児童生徒が自ら課題を発見し、友達と協力して課題を解決していく授業のデザインについて学びました。また、個人の考えを共有し、整理できる I C T 機器などのツールを取り入れることで、児童生徒がより深く考えることができる授業についても学びました。



#### ◆優秀な教員の積極的配置

豊富な社会経験をもち、教育への情熱と成長意欲を兼ね備えた人材(フェロー)を学校現場に派遣しているNPO法人 Teach For Japan から、小・中学校に1名ずつのフェローを県内で初めて派遣していただきました。平成29年度は Teach For Japanのフェロー研修と本市の教員研修を互いに視察し、理解する機会を設けるなどさらに連携を深めていきます。



# 子供たちをいじめから守るため、「戸田市いじめ防止基本方針」の見直しを進めています。

2月3日、市長や関係各課職員等からなる「いじめ問題対策連絡協議会」と、弁護士や精神科医等からなる「いじめ問題調査委員会」の合同会議を開催し、教育委員と市内全小・中学校長をオブザーバーとして加え、戸田市のいじめの実態や教育と福祉の連携の必要性など、それぞれの立場から活発に意見を出し合い、たいへん充実した会議となりました。

これまでも、戸田市では「いじめを絶対に許さない」という強い 決意を示し、各学校を中心にさまざまな対策を行ってきました。今 後は、「いじめはどの学校・児童生徒にも起こりうる」という認識 から一歩踏み出し、「いじめはどの学校・児童生徒にも起こってい る」という基本認識の下、「戸田市いじめ防止基本方針」の見直し に向けた検討を進めていきます。





# 学校とは一味違った「子ども大学とだ」

「子ども大学とだ」とは、小学校4~6年生を対象に知的好奇心を刺激する学びの機会を提供する事業です。平成28年度は7月16、21、22、29日に開催し、4日間合計99名の参加がありました。 講座は「はてな学」、「ふるさと学」、「生き方学」からなっており、大学教授や専門家が講師となります。 平成28年度は、大学教授の講座、青山学院大学の青山キャンパス訪問、戸田市サイエンスフェスティバル、日本の伝統文化である「講談」の講座を実施しました。



大学教授による講座



戸田市サイエンスフェスティバル



青山学院大学青山キャンパス訪問



講談師による講座

# ◆家庭教育宣言について

平成28年6月、戸田市公立学校PTA連合会総会において「家庭教育宣言」が承認されました。PTA自らが家庭教育の重要性について宣言し、各家庭に呼びかける事例は、県内でもめずらしい取組です。

この宣言は、現代の子供たちを取り巻く複雑多様な環境の中で、家庭での教育、習慣は最も重要であると考え、その基本的な指針を定めたものです。

各家庭で実践されることにより、学校と家庭のさらなる 連携が図られ、子供たちの健全な成長が推進されるもので す。

# 家庭教育宣言

現代の子供たちを取り巻く環境は、様々な情報伝達ツールの発達により、必要性 の是非に関わらず、流れ込む情報に翻弄されている状況です。

このような環境の中で、自立した人間形成、社会で生きていくコミュニケーションカ、健全な心身をはぐくむ為の生存力を急に付ける為には、もう一度、これまでの家庭、学校、地域社会での教育のあり方を振り返り、協働して子供たちを育てることが重要です。その中でも家庭での教育、習慣は最も重要であると考えます。 戸田市公立学校PTA連合会では、子供たちへの家庭での教育、習慣を身に付ける為の基本的な指針を定め、家庭の中で実践することが大切だと考え、ここに「家庭教育賞賞」をします。

- 1 子供の自主性を尊重して、自立した人間性を育みます Oすすんで挨拶・返事をさせます
- 2 他者への思いやりや優しさを大切にして、健全な心を育みます のいじめを絶対にさせない、見返さないようにさせます
- 3 社会の一員であることを自覚し、ルールを守る心を育みます 〇すすんで家の手伝い、地域活動への参加をさせます
- 4 規律のある生活習慣・食生活で、健全な体を育みます 〇早寒、早起き、朝食を習慣化させます
- 5 毎日の基本的な学習習慣で、選しく生きるための知を育みます ○家庭学習を習慣化させます



平成28年度、図書館・郷土博物館・彩湖自然学習センターでは、さまざまなイベントを実施しました。平成29年度も、皆様に楽しんでいただける事業を行ってまいります。ぜひ、図書館、郷土博物館及び彩湖自然学習センターに足を運んでいただきますよう、よろしくお願いします。

### 図書館

#### 子どもの本の講演会「親子で楽しむ科学遊び」

#### 平成28年7月31日(日)

宇宙をテーマとした子供たちの好奇心を満たす科学の講義とマイ天体 望遠鏡の作成

#### としょかんクリスマス

#### 平成28年12月17日(土)

おはなし玉手箱クリスマススペシャル、市民参加によるビブリオバトル 及びクリスマスミニコンサートを行いました。

#### おはなしボランティア養成講座

#### 「子どもの本を作り届ける~児童出版・編集の現場から~」

#### 平成29年2月15日(水)

児童出版業界で活躍中の別府章子さんの講義を行いました。

### 郷土博物館

#### 第32回特別展「埴輪が語る戸田市の古墳時代」

平成28年7月16日(土)~8月28日(日)

近年、南原遺跡から発掘された珍しい埴輪を中心に展示しました。

#### 市制50周年記念「今昔写真帳~戸田市の歩み~」

平成28年10月1日(土)~11月27日(日)

昭和40年代と現在の様子を比較した写真等を展示しました。

#### 「たんけん 昔のくらし」

平成29年1月14日(土)~3月5日(日)

電化以前と初期の電化製品が私たちの生活をどのように変化させたかを展示しました。

### 彩湖自然学習センター

#### 野鳥観察会(全5回)

#### 平成28年5月~平成29年2月

初夏1回、冬期4回開催。初夏は彩湖の自然の中で生活する鳥を、 冬は彩湖で冬を越す鳥を観察しました。

### こども自然クラブ(全6回)

#### 平成28年6月~平成29年3月

小学3年生から中学生までの会員28名が自然の中でさまざまな 体験活動を行い、自然の大切さを学びました。

#### 写真パネル展「彩湖・自然百景」

#### 平成29年3月1日(水)~4月9日(日)

彩湖の自然と生き物たちの営みの記録を撮影した写真の展示を行っています。



クリスマスコンサートの様子



ビブリオバトル



昭和41年10月1日の市制祝賀 パレードの様子



昭和45年発行の広報



こども自然クラブ

# 大きくなったら、大人になったら何になる?

おそらく、だれでも1回ぐらいは聞かれたことがあるでしょう。野球選手、サッカー選手、 学校や幼稚園の先生、ゲームのクリエイター、パティシエなどさまざまな職業を夢見ていると 思います。もうすぐ4月、新しい一歩を踏み出す節目です。戸田市長、教育長そして、戸田市 の教育に協力いただいている方に小・中学生の頃の夢を聞いてみました。

夢や希望について話し合ってみてはいかがでしょうか?



- ①小・中学生の頃の夢はなんですか?
- ②今の自分になるために一番努力したことは何ですか?
- ③戸田市の小・中学生に期待すること

#### 神保国男 戸田市長

①:陸上選手になること

②:目標に向かってあきらめずに努力すること。私の場合は10年カレンダーをつけました。夢がかなった20年後の自分の姿を想像し、これを実現するために、10年後、3年後、1年後、1ヶ月後、1週間後に何をするかを考えていくと、おのずと今日やるべきことが見えてきました。目標を明確にすることは大切なことだと思います。

③: 偉人の伝記をたくさん読むこと。何かを成し遂げた偉人は、目標達成に向けて誰よりも努力し、最後までやり抜いた人たちです。伝記を読んで、夢をかなえるためには何が必要か、求められている力は何かを学んでください。

#### 慶應義塾大学総合政策学部准教授 中室牧子先生

①:塾や学校の先生

②:「苦手なこと」をそのまま放置しないこと。私は英語が大変苦手で、「外国の大学に行って勉強したい」とは思っていましたが、諦めていました。結婚した夫が転勤になり、28歳の時に一緒にアメリカに行くことになったのです。私と同じ年で、同じように英語が苦手な夫がアメリカで必死に英語を勉強し、努力する姿をみて、私はがんばらずに苦手を克服することは出来ないことを知りました。その後、必死で英語を勉強し、自分もアメリカの大学院に進学しました。

③:誰にも「苦手」なことは存在します。でもその苦手が苦手のままかどうかは、自分次第だと今では思っています。皆さんも、「これは苦手だから」などと自分の可能性にふたをせず、挑戦してほしい。すべての人が最初は初心者ですから、最初からうまく行く人なんていないのです。「でも、まぁ、やってみるか」と気軽に考え、少しでも前進できる人が、実は最後に大きなことを成し遂げていると私は思います。

#### インテル株式会社教育事業推進担当 竹元部長

(1): コンピューターの技術者

②: テクノロジーはどんどん進化するので、 その技術知識を勉強するだけでなく、それが世の中で何に使われ、そして便利になるのか調べたり考えたりすることです。新しいことを想像することが一番難しいです。

③:ぼくらの子供の頃に、まさか電話にスーパーコンピューターが搭載されて、それを一人ひとりが手に持ち、生活をより便利にするなんて想像できませんでした。これからの皆さんが大人になる時代はもっと、テクノロジーが進み、世界中の人々やロボットと共に生きる時代になります。それはどんな便利な世の中になるか、自分だったらどうするかを考えながら学んでください。

※2月9日、インテル株式会社と連携してプログラミング 教育を推進していく契約を結びました。

#### 戸ヶ崎 教育長

①:宮大工か鋳物職人

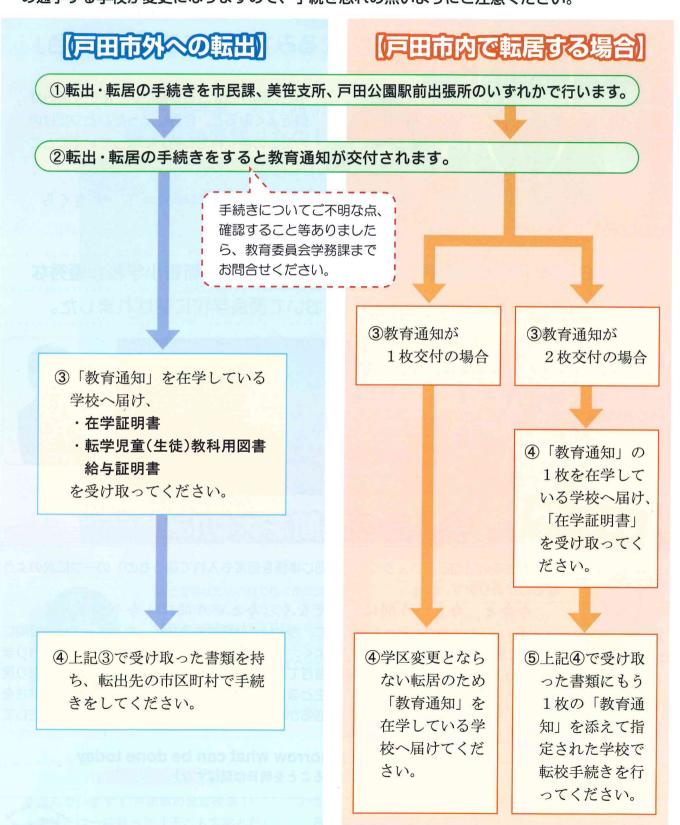
②: 学生時代は、まじめに勉強した覚えが ないのです。運だけで就職まで到達してしまったので 就職してから勉強らしい勉強が始まったように思いま す。自分はこれまで勉強してきていないという負い目 があったからです。現在にいたるまで齢を重ねるごと に勉強しようとする意欲だけは年々高まっています。 今がそのピークなのかもしれませんが、誰よりも教育 長が一番勉強しなければいけないと常に考えています。

③:今の子供たちが社会で活躍する時代は、人工知能やロボット開発も一層進み、特別の知能・スキルが求められない職業や、データ分析や秩序・体系的操作が求められる職業は、ロボットに代替される可能性が高いと言われています。戸田市の子供たちには、人工知能では代替が難しいとされる、コミュニケーションカやプレゼンテーションカなどといった、いわゆる「21世紀型スキル」や「やり抜くカ(grit)」を是非身に付けてもらいたいと思っています。

## 学務課からの お知らせ

# 転出・転居の手続きについて

引越しのシーズンとなりました。市役所市民課、美笹支所及び戸田公園駅前出張所で引越し に伴う住民異動の手続きを行うことができます。手続きに伴い以下の場合において、お子さま の通学する学校が変更になりますので、手続き忘れの無いようにご注意ください。



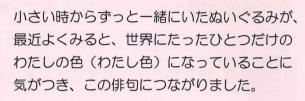
問い合わせ先: 戸田市教育委員会学務課

戸田市上戸田1-18-1 **☎**048-441-1800(内線303·310)

# とだつ子の活躍コーナー

第27回伊藤園お~いお茶新俳句大賞の小学生の 部で優秀賞になりました。

### 「ぬいぐるみずっと使うとわたし色」



美谷本小学校5年 石川 さくら

### 平成28年度、埼玉県教育委員会より美谷本小学校と新曽小学校が優秀な 取組を行ったとして、学校給食部門において優良学校に選ばれました。

1月27日には平成28年度埼玉県学校健康教育 推進大会において表彰を受け、新曽小学校の山藤泰 子栄養教諭が学校給食部門の代表として、学校にお いて効果的に食育を進めるための取組について実践 発表を行いました。







# 会。この照問を大切に



戸ヶ﨑教育長

日本古来の畳句歌 (じょうくうた:同じ単語を何度も入れて詠うもの) の一つに次のようなものがあります。

#### 今今と 今という間に 今ぞなく 今という間に 今ぞ過ぎ行く

意味は、「今やろうと言っている間に、今という時間はもうなく、今と言っている瞬間に、今という時が過ぎ去っていく」です。よく、「今やろうと思っていた」と言うことがありますが、その瞬間に「今」という時間は過ぎて過去になってしまいます。過ぎた時間は取り戻せません。今の時間が積み重なって人生となるわけで、この歌は、今という時間の大切さを表しています。「今」をどうカー杯生きるか、「今」という時間を大切にした生き方をしてほしいと強く願っています。

#### Never put off till tomorrow what can be done today

(今日できることを明日に延ばすな)

教育広報 と だ

第92号

発 行 日/平成29年3月10日 編集発行/戸田市教育委員会 〒335-8588 戸田市上戸田1-18-1 TEL 048-441-1800 戸田市教育委員会のホームページ http://www.toda-c.ed.jp/

